

Creator's NEWS

=みんなでつくる。創造、モノづくり。=

Vol.

51

2024/Sep.

Free Magazine



autumn



安政2年 和歌山城下町絵図を許に、解説して貰いました。

移転前のクリエイターズの場所は町人町でした。

参加者のほとんどが和歌山で育ち、中には城下町で育った人もいます。和歌山城周辺にまつわる歴史を深く知りませんでしたが、今回のレクリエーションで学んだことで、見方が変わりました。和歌山城を外から見るだけでなく、たまには和歌山城の中やその周辺を学んだことを感じながら散歩するのもいいかなと感じました。

歴史を教えに來てくれた県立博物館の学芸員さんが和歌山出身じゃなかったことでした(笑)

今回一番驚いたことは、和歌山の歴史を教えるに來てくれた県立博物館の学芸員さんが和歌山出身じゃなかったことでした(笑)

いたそうです。改修後は最初に造られた当時の赤が蘇っています。
そして今は二の丸、西の丸広場には建物は建っていないが、戦前には市役所などが建っていた写真を見せていただきました。(写真貼付)



和歌山城敷地内 旧和歌山市庁舎。上記の画像を許に解説を受けました。以前は、旧制和歌山中学校(桐蔭高等学校)の校舎でした。

9月23日、レクリエーションとして事業所に和歌山県立博物館の学芸員さんが来られ、和歌山の歴史『江戸時代の城下町和歌山』を教えていただきました。資料や映像を見ながら丁寧に説明をしてくれました。

江戸時代には和歌山が今の県境を越え、三重県の一部が和歌山県であったことや、お城を中心に武士・お寺・町人が住む地域が分けられていたこと、当時の身分制度などで人々の住む所も分けられていたことを資料やパワー・ポイントの画面を見ながら説明を受けました。

昔の資料で、相撲の番付表のように各都道府県が番付されていて、和歌山は上位であったこと、和歌山城の構造や天守閣、様々な門のことなどを教えていただき、和歌山城の石垣は、造られた時代によって石垣の積み方も違っていることも知りました。今は重機などで積めますが、当時の人々が重い石を運んで積んでいったことを思うと、どれだけの年月で一つのお城を築いたのか想像するだけで大変だと思いました。

参加者からの質問で、「小学校の時に追廻門をくぐつて学校に通っていたが、その時は赤い門でなかつたと思う」という問には、造られた当時は赤い門だったという資料が残っており、質問者が見ていた改修前の追廻門は赤い色が落ちてしまつて

いたそうです。改修後は最初に造られた当時の赤が蘇っています。
そして今は二の丸、西の丸広場には建物は建っていないが、戦前には市役所などが建っていた写真を見せていただきました。(写真貼付)



和歌山城敷地内 旧和歌山市庁舎。上記の画像を許に解説を受けました。以前は、旧制和歌山中学校(桐蔭高等学校)の校舎でした。